

Oat® COM ORG -有機コロイダルオートミール-

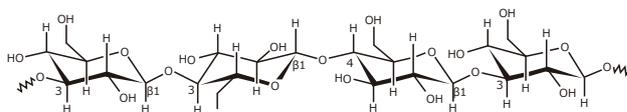
コロイダルオートミールは、欧州では大変歴史のある穀物で、記録によれば紀元前 3000 年頃から栽培されてきたと言われています。

中世以降、主食としての地位は小麦に譲りましたが、薬草としての有用性は揺らぐことはなく、健康食品または外用薬として民間利用されてきました。

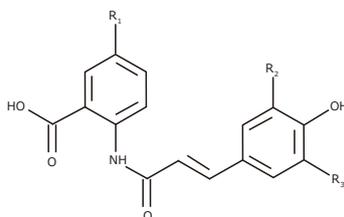
20 世紀初頭から本格的に化粧品用途としての利用が始まると共に科学的観点からの検討が始まり、各種ミネラル、食物繊維、β-グルカン等に加え、オーツ麦特有の【アベナンスラミド】と呼ばれるポリフェノールが発見されています。

こうした歴史的、科学的な知見からアメリカ食品医薬局（FDA）では、2003 年に『皮膚保護作用がある植物』として承認をしております。

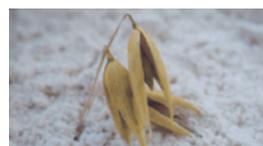
(21 CFR PART 310 and 347)



β-glucan



Avenanthramida



商品名 : Oat COM ORG

化粧品表示名称 : コロイダルオートミール (又は「カラスムギ穀粒」)

INCI : COLLOIDAL OATMEAL (又は「Avena Sativa(Oatmeal) Kernel Flour」)

中国 INCI : 胶态燕麦粉

用途 : 保湿剤、肌荒れ防止剤、皮膚バリア回復機能

認証 : ECOCERT COSMOS (Organic PPAI:100%)

荷姿 : 20kgクラフト袋

EBISU

販売者 : 恵比須化学工業株式会社

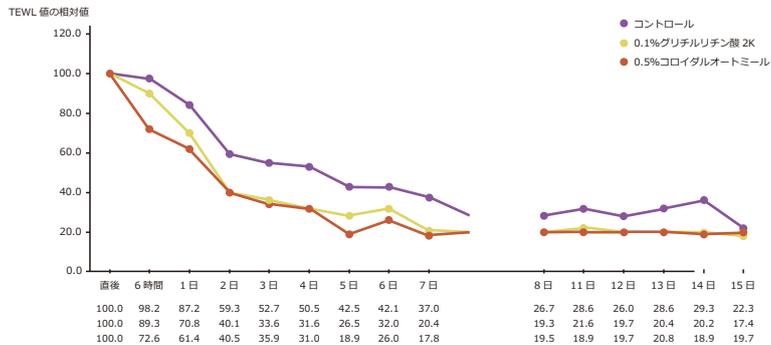
所在地 : 東京都千代田区鍛冶町1-10-6 <https://www.ebisukagaku.com>
TEL : 03-5244-4650/FAX : 03-5244-4651 e-mail : ebisu@ebisukagaku.com

※本資料は、製品の特性をより正しくご理解頂くために製品開発者向けに作成されたものであり、一般の消費者向けの情報ではないことをご了承下さい。また、本資料内の記述、写真等の無断転用はご遠慮ください。

◆皮膚ダメージ回復促進作用

コロイダルオートミールの塗布により、界面活性剤（SDS）により破壊された皮膚バリア機能の回復を促進することが分かりました。

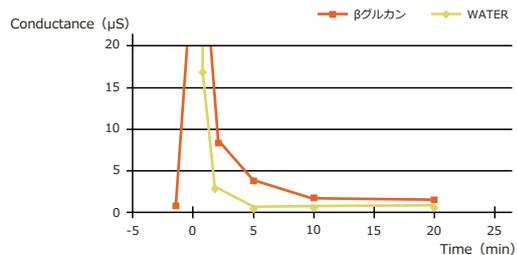
※数字はパッチ直後の TEWL 値を 100 とした相対値。各有効成分入りのクリームを一日 2 回適量塗布し、TEWL 値の推移を比較しました。



◆保湿作用

SKICON-200 を用いた試験において、オーツ麦β-グルカン は、角層保湿作用が認められた。

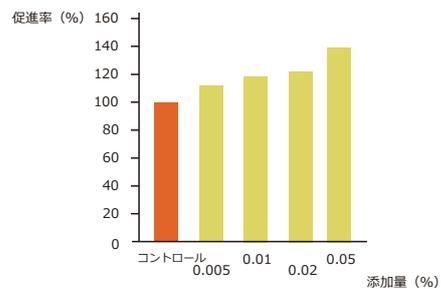
(本田秀子 /FRAGRANCE JOURNAL 2005.3)



◆I型コラーゲン産生促進作用

ヒト線維芽細胞の培養試験において、オーツ麦β-グルカンはI型コラーゲンの産生を促進した。

(本田秀子 /FRAGRANCE JOURNAL 2005.3)



◆抗炎症作用

アベナンスラミド含有培地にて、マウス筋芽細胞を培養したところ炎症関連物質 NF-Kβの産生量を抑制した。(IC50にて算出)

(J.Yang et al./Food Chemistry 160 (2014))

化合物名	IC50
Avenanthramide a	64.3μM
Avenanthramide b	29.3μM
Avenanthramide c	9.1μM

